

ガス

運用指標 (Operation Indicator)

区分	指標名	指標作成方針・方法	ターゲット	目的	備考
基本	<p><u>ガス生産量・搬送量</u> (製造ガス種別別)</p> <p>Production or Transmission Volume of Gas By Kind of Product</p>	<p>Nm³/年</p> <p>ガス発熱量 (MJ/Nm³)</p> <p>ガス成分 (CH₄、C₃H₈、CO、 H₂等)</p>	<p>審査時 計画値</p>	<p>ガス製造・搬送施設の運用状況の確認</p>	<p>送ガス管敷設事業も想定した指標とした。 発熱量や成分はガスの製法・種類により異なるため併記することとした。(ガス生産・製造施設を対象：これらは環境関連の指標を取る際にも必要である)。 ガス事業は、環境配慮などより石油・石炭など他化石燃料との代替を促す事業が多い。同観点よりその効果の把握のためには、需要側のデータをある程度細かく、継続的に収集するとともに、他化石エネルギーの消費量についても情報収集することが好ましい。またその成分の違いによりエネルギー供給量(発熱量)が異なり、需要量の増減に影響を与えることから、ガス成分の詳細な情報収集も必要。</p>
基本	<p><u>ガス生産・搬送・配送の停止時間</u> (人員ミス、機械故障、自然災害、計画点検別)</p> <p>Production, Transmission or Supply Interruption Duration</p>	<p>指標名の通り</p>	<p>実施機関 との協議</p>	<p>適切な運用状況の確認</p>	<p>ガス生産及び搬送については、停止だけでなく、ガス供給地点でのガス圧力の低下時間についてもフォローが必要。</p>

効果指標 (Effect Indicator)

区分	指標名	指標作成方針・方法	ターゲット	目的	備考
基本	<u>受益者別販売量</u> (家庭用、工業用、商業用等の別) Gas Sales Volume By Type of Beneficiaries	Nm ³ /年	審査時 計画値	家庭用、工業用、商業用等受益者別の ガス販売量の確認	配ガス事業を想定。
基本	<u>ガス普及率</u> Dissemination Rate	受益戸数/世帯数 (%)	審査時 計画戸数	事業エリアの家庭用ガス普及状況の 確認	一般家庭向けの配ガス事業を想定。 都市化による世帯数の継続的を補足し難い時には、 各年の受益戸数と数年おきの普及率の数字を併用 することも可。

環境関連指標(Environment Indicator)

区分	指標名	指標作成方針・方法	ターゲット	目的	備考
効果 (補助)	<u>汚染物質等の排出削減量</u> (硫黄酸化物、煤塵、二酸化炭素等 の排出削減量) Decreased Volume of Pollutant	トン/年	審査時 計画値	エネルギー転換に伴う環境改善効果 の確認	エネルギー転換 (例：石炭からガスに転換) 量を基 に産出する。 ただし、ガス製造時の汚染物質排出量も考慮に入れ る必要があるため注意が必要。